2015年3月期
決算説明会

2015年4月30日

日本郵船株式会社

目　次

1）2015年3月期　決算　P.2 － 4

2）2016年3月期　通期業績予想　P.5 － 6

3）セグメント別状況　P.7 －11

4）財務状況　P.12

5）運航船舶　P.13

2015年3月期 決算(サマリー)

・円安効果、燃料油安効果等により前年度比増収増益。
・下期の航空運送事業の急回復等により、全段階損益で前年度比4割超の増益。

(億円)	14/3期					15/3期					通期増減	前回予想4Q	前回予想比増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期			
売上高	5,284	5,606	5,652	5,828	22,372	5,823	5,967	6,037	6,189	24,018	1,645	5,973	216
営業損益	67	132	157	92	449	115	163	130	252	661	211	182	70
経常損益	114	141	247	80	584	120	247	248	224	840	255	105	119
当期純損益	85	119	78	46	330	102	97	84	191	475	145	116	75
為替レート	¥97.72	¥98.34	¥99.56	¥103.39	¥99.75	¥102.40	¥102.65	¥112.34	¥119.36	¥109.19	¥9.44	¥115.00	
燃料油価格	$643.46	$613.86	$621.30	$617.82	$624.11	$616.36	$610.64	$574.02	$428.10	$557.28	−$66.83	$400.00	

□ 配当: 期末配当金を直近予想より1円増額し、
年間7円(中間2円＋期末5円)を予定 (前年度比2円増配)。配当性向25%

2015年3月期 前年同期比較（セグメント別）

15/3期決算

	事業セグメント（億円）	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q	14/3期 4Q	14/3期 通期	15/3期 1Q	15/3期 2Q	15/3期 3Q	15/3期 4Q	15/3期 通期	通期増減	前回予想 4Q	前回予想比増減
一般貨物輸送事業	定期船	1,485	1,558	1,540	1,590	6,174	1,668	1,772	1,713	1,809	6,963	788	1,787	22
		▲ 6	▲ 2	12	▲ 11	▲ 7	▲ 1	51	10	37	98	105	6	31
	航空運送	201	218	240	227	888	223	240	268	259	991	102	224	35
		▲ 24	▲ 23	▲ 3	▲ 22	▲ 73	▲ 22	▲ 11	20	19	6	80	▲ 12	31
	物流	1,047	1,070	1,112	1,085	4,315	1,098	1,167	1,272	1,331	4,869	553	1,203	128
		5	24	22	11	65	14	28	30	34	107	42	23	11
	（単純合計）	2,733	2,847	2,893	2,903	11,379	2,990	3,179	3,254	3,400	12,823	1,444	3,212	188
		▲ 24	▲ 1	32	▲ 22	▲ 16	▲ 10	68	62	92	213	229	15	77
不定期専用船事業	不定期専用船	2,304	2,466	2,508	2,605	9,884	2,525	2,454	2,492	2,487	9,958	73	2,614	▲ 126
		132	116	202	97	548	119	155	181	144	600	51	110	34
その他事業	客船	108	132	103	108	452	121	139	115	121	498	45	114	7
		▲ 5	17	0	▲ 3	7	3	22	▲ 3	0	21	14	▲ 7	6
	不動産	24	25	25	24	99	24	24	23	23	95	▲ 4	24	0
		9	9	9	9	38	9	8	8	6	32	▲ 5	4	2
	その他	459	475	451	541	1,927	449	445	412	399	1,706	▲ 221	439	▲ 39
		3	0	4	0	6	1	▲ 3	5	▲ 9	▲ 5	▲ 12	▲ 9	0
	消去・全社	▲ 346	▲ 340	▲ 329	▲ 354	▲ 1,371	▲ 287	▲ 274	▲ 260	▲ 241	▲ 1,063	308	▲ 429	187
		0	0	0	0	0	▲ 4	▲ 4	▲ 4	▲ 8	▲ 21	▲ 20	▲ 8	0
	連結	5,284	5,606	5,652	5,828	22,372	5,823	5,967	6,037	6,189	24,018	1,645	5,973	216
		114	141	247	80	584	120	247	248	224	840	255	105	119

※ （上段）売上高　（下段）経常損益

・前年度赤字であった定期船、航空運送事業が黒字化
・ドライバルカー市況が低迷する中、自動車輸送部門、リキッド部門が好調で、不定期専用船事業全体では増益。

経常損益 前年同期比増減分析

15/3期決算

コンテナ・ドライバルカー市況は前年度比で厳しい状況続いたが、
非海運業の増益、及びコスト削減、円安、燃料油安等の効果により
前年度比で大幅増益

（億円）

円安	151	今期 109.19円/$、9.44円の円安
燃料油安	94	今期 $557.28/MT、$66.83の下落
海運市況変動等	▲ 458	
コスト削減	251	定期船部門 195
為替差損益	67	
その他	151	償却延長 58
合計	256	

2016年3月期　通期業績予想(サマリー)

円安・燃料油安・構造改革効果等により、全段階損益で前年度比増益。

（億円）	15/3期（実績）					16/3期（予想）			通期増減
	上期		下期		通期	上期	下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q					
売上高	11,790		12,227		24,018	12,145	12,055	24,200	182
	5,823	5,967	6,037	6,189					1%
営業損益	278		382		661	445	435	880	219
	115	163	130	252					33%
経常損益	367		472		840	455	445	900	60
	120	247	248	224					7%
当期純損益	200		275		475	350	200	550	75
	102	97	84	191					16%
為替レート	¥102.40	¥102.65	¥112.34	¥119.36	¥109.19	¥115.00	¥115.00	¥115.00	¥5.81
燃料油価格	$616.36	$610.64	$574.02	$428.10	$557.28	$370.00	$370.00	$370.00	−$187.28

□ 経常利益に対する感応度

為替レート　：1円の円安で約14億円/年

燃料油価格：$10/MTの燃料油価格下落で約10億円/年

□ 配当：　1円増配の年間8円（中間4円＋期末4円）を予定

2016年3月期 通期業績予想（セグメント別）

	事業セグメント（億円）	15/3期（実績） 1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	16/3期（予想） 上期	下期	通期	通期増減
一般貨物輸送事業	定期船	1,668	1,772	3,440	1,713	1,809	3,522	6,963	3,910	3,810	7,720	756
		▲ 1	51	49	10	37	48	98	170	105	275	176
	航空運送	223	240	463	268	259	527	991	465	455	920	▲ 71
		▲ 22	▲ 11	▲ 33	20	19	40	6	5	15	20	13
	物流	1,098	1,167	2,265	1,272	1,331	2,603	4,869	2,700	2,725	5,425	555
		14	28	42	30	34	65	107	50	60	110	2
	（単純合計）	2,990	3,179	6,169	3,254	3,400	6,654	12,823	7,075	6,990	14,065	1,241
		▲ 10	68	58	62	92	154	213	225	180	405	191
不定期専用船事業	不定期専用船	2,525	2,454	4,979	2,492	2,487	4,979	9,958	4,750	4,730	9,480	▲ 478
		119	155	274	181	144	326	600	225	270	495	▲ 105
	不動産	24	24	48	23	23	46	95	45	45	90	▲ 5
		9	8	18	8	6	14	32	15	15	30	▲ 2
	その他※	570	584	1,155	528	520	1,049	2,204	1,035	1,030	2,065	▲ 139
		5	19	24	1	▲ 10	▲ 9	15	5	▲ 5	0	▲ 15
	消去・全社	▲ 287	▲ 274	▲ 561	▲ 260	▲ 241	▲ 501	▲ 1,063	▲ 760	▲ 740	▲ 1,500	▲ 436
		▲ 4	▲ 4	▲ 8	▲ 4	▲ 8	▲ 12	▲ 21	▲ 15	▲ 15	▲ 30	▲ 8
	連結	5,823	5,967	11,790	6,037	6,189	12,227	24,018	12,145	12,055	24,200	182
		120	247	367	248	224	472	840	455	445	900	60

※ クリスタル・クルーズ社の売却により、16/3期より客船事業セグメントを「その他事業」に含めて開示。

・定期船、航空運送、物流の各事業は前年度比増益。
・不定期専用船事業は、ドライバルカー市況の低迷、燃料サーチャージの期ずれによる収入減等により減益を予想。

セグメント別状況 ①

1. 定期船事業 – コンテナ船:

輸送量・スペース（1,000 TEU）

		14/3期（実績）	15/3期（実績） 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	前回予想比	16/3期（予想） 上期	下期	通期	前期比増減
アジア→北米	輸送量	663	180	198	179	160	718	▲ 18	401	359	761	43
	スペース	787	202	213	193	166	774	▲ 22	435	377	812	38
	消席率	84%	89%	93%	93%	96%	93%	0%	92%	95%	94%	1%
アジア→欧州	輸送量	512	148	150	141	135	574	▲ 0	313	290	603	29
	スペース	560	153	158	150	144	605	1	324	308	631	26
	消席率	91%	97%	95%	94%	94%	95%	0%	96%	94%	95%	1%

運賃推移 （指数表示 09/3期 1Q=100）

	14/3期（実績）	15/3期（実績） 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	16/3期（予想） 上期	下期	通期	前期比増減
アジア→北米	96	91	91	89	94	91	92	92	92	1
アジア→欧州	72	72	74	66	69	70	69	67	68	▲ 2

□ 積高: 15/3期 北米港湾混雑の影響で下期は目標を下回ったが、通期では北米8%、欧州は12%前年度比増加。
16/3期 供給スペース増加に応じて、積み高増強を図る。

□ 運賃: 15/3期 北米は貨物の入れ替えで運賃は前年度比5ポイント下落したが、収支は改善。
16/3期 新造大型船の竣工・投入がピークを迎え、運賃市況は全般的に弱含みなるも、北米航路は若干の上昇と想定。

セグメント別状況 ②

2. 航空運送事業(NCA)

		14/3期(実績)	15/3期(実績) 上期 1Q	15/3期(実績) 上期 2Q	15/3期(実績) 下期 3Q	15/3期(実績) 下期 4Q	15/3期(実績) 通期	16/3期(予想) 上期	16/3期(予想) 下期	16/3期(予想) 通期
売上高	(億円)	888	463		527		991	465	455	920
			223	240	268	259				
経常損益	(億円)	▲ 73	▲ 33		40		6	5	15	20
			▲ 22	▲ 11	20	19				
輸送重量	千トン	407	233		237		470	247	237	484
			115	118	119	118				
輸送量(RTK)	百万トンキロ	2,470	1,410		1,485		2,895	1,476	1,431	2,907
			690	720	736	749				
供給量(ATK)	百万トンキロ	3,498	1,984		2,004		3,988	1,985	1,893	3,878
			975	1,009	1,017	987				
YIELD指数	09/3期 1Q=100	93	94		103		98	85	87	86
			93	94	105	101				
MOPS (ｼﾞｪｯﾄ燃料)	US$ per bbl	$121	118		80		$99	$70	$70	$70
			$120	$116	$90	$69				

- 15/3期:下期以降の継続的な燃料単価の下落および4Qの北米港湾混雑に伴う緊急需要により、Yieldが上昇、輸送重量も増加し、業績が急回復。
- 16/3期: 燃料油安、構造改革による固定費削減効果等により増益を見込む。

セグメント別状況 ③

3. 物流事業

（億円）	14/3期（実績）	15/3期（実績）					16/3期（予想）		
		上期		下期		通期	上期	下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	4,315	2,265		2,604		4,869	2,700	2,725	5,425
		1,098	1,167	1,272	1,331				
経常損益	65	42		65		107	50	60	110
		14	28	30	34				

・15/3期： 航空貨物輸送は、米国の景気回復に伴う堅調な荷動きと港湾混雑により需要が高まり、取扱量は前年度を大きく上回った。海上貨物輸送の取扱高は、日本発は堅調もアジア発は低調。コントラクト・ロジスティクスは、南アジアを中心に事業拡大。

・16/3期： 取扱量は引き続き堅調に推移する見込み。

セグメント別状況 ④

4. 不定期専用船事業 – 1)ドライバルカー・タンカー市況動向:

		14/3期（実績）	15/3期（実績）					16/3期（予想）		
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期	上期	下期	通期
ドライバルカー	ＢＤＩ	1,348	983	950	1,120	614	917	775	1,140	958
	Cape (4TC)	17,256	11,884	12,665	14,148	4,610	10,827	7,500	14,500	11,000
	Panamax (Pac)	9,914	6,834	5,218	8,752	4,535	6,335	6,000	9,000	7,500
	Handymax (Pac)	9,201	9,022	8,639	8,928	5,980	8,142	6,750	7,250	7,000
	Handy (Pac)	7,628	8,083	6,405	7,003	5,527	6,755	6,250	6,750	6,500
タンカー	VLCC	22,913	14,050	21,497	48,792	56,493	35,208	37,500	37,500	37,500

※ ドライバルク船型別市況（スポット傭船料） 4TC = 4航路平均、Pac = 太平洋ラウンド　単位 = $/day

□ ドライバルカー:　15/3期は全船型において前年度比悪化。
16/3期は、足元は史上最安値圏で推移しているが、徐々に改善に向かい、通期では前年度並み程度を見込む。

□ タンカー:　15/3期3Q以降の原油価格の下落による需要の増加、調達先の多様化による輸送距離の増加等から前年度比大幅改善。
16/3期は引き続き好調を維持すると見込む。

セグメント別状況 ⑤

4. 不定期専用船事業 -2) 自動車船:

自動車輸送台数

	14/3期（実績）	15/3期（実績）					16/3期（予想）		
		上期		下期		通期	上期	下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q				
輸送台数（万台）	360	184		182		365	185	185	370
		93	90	93	89				
前年同期比	4%	1%		3%		2%	1%	2%	1%
		6%	-4%	-1%	7%				

- 15/3期 ： 前年度比2%増加を達成。
  北米の好調な新車販売等に支えられ、当社扱いの日本出し輸送台数も堅調に推移。
- 16/3期 ： 主に三国間貨の増加により、前年度比1%の増加を見込む。

財務状況

	13/3期末（実績）	14/3期末（実績）	15/3期末（前回予想）	15/3期末（実績）	16/3期末（予想）
有利子負債（億円）	12,921	12,419	11,100	10,983	10,000
自己資本（億円）	6,504	7,202	7,500	8,103	8,400
自己資本比率	27%	28%	30%	32%	33%
DER	1.99	1.72	1.48	1.36	1.19
ROE	3.1%	4.8%	4.7%	6.2%	6.7%
営業CF （億円）	939	1,365	1,100	1,364	1,400
投資CF （億円）	▲ 1,355	64	▲ 700	267	▲ 1,200
（減価償却費）（億円）	（975）	（1,059）	（950）	（1,010）	（1,000）

15/3期は、
・有利子負債削減の進捗は順調。
・自己資本比率・DER・ROEは揃って改善。
・投資CFは北米ターミナル事業持分売却、オフバラ促進、投資案件の期ずれ等により、軽減。

運航船舶

事業セグメント	船種	14/3期末（実績）						15/3期末（実績）					
		所有（含共有）		傭船		運航船合計		所有（含共有）		傭船		運航船合計	
		隻数	DWT（1000Kt）	隻数	DWT（1000Kt）	隻数	DWT（1000Kt）	隻数	DWT（1000Kt）	隻数	DWT（1000Kt）	隻数	DWT（1000Kt）
定期船事業	コンテナ船（セミコンテナ船を含む）	25	1,333	76	4,239	101	5,572	20	1,219	84	4,772	104	5,991
不定期専用船事業	撒積船（ケープサイズ）	36	6,806	93	17,769	129	24,576	36	6,806	87	17,054	123	23,861
	撒積船（パナマックスサイズ）	41	3,583	73	6,133	114	9,716	42	3,696	71	5,846	113	9,542
	撒積船（ハンディサイズ）	67	2,936	105	4,943	172	7,880	67	3,010	105	4,838	172	7,848
	チップ船	9	438	40	2,141	49	2,580	8	416	40	2,141	48	2,558
	自動車船	30	500	95	1,730	125	2,230	28	477	95	1,738	123	2,215
	タンカー（油槽船）	52	8,581	25	3,475	77	12,056	47	8,107	21	3,206	68	11,313
	LNG船	26	1,944	3	228	29	2,172	27	2,015	3	228	30	2,243
	在来・プロジェクト貨物	15	302	37	606	52	909	15	302	32	455	47	758
	その他	11	109	15	208	26	318	1	7	0	0	1	7
客船事業	客船	1	7	2	14	3	21	1	7	2	14	3	21
合計		313	26,544	564	41,491	877	68,036	292	26,067	540	40,295	832	66,363

共有船の重量トンは他社持分を含む。

J/V保有を含むLNG船の保有隻数は14/3期末は67隻、15/3期末は69隻

- □ ケープサイズ: Over 120,000DWT
- □ パナマックスサイズ: 60,000-119,999DWT
- □ ハンディサイズ: Under 60,000DWT